

A42 (三輪・纏向・織田)

【 久延毘古くえひこに少彦名神すくなひこのかみを尋ねて 】

～ 久延毘古神社 ～



大神神社末社である久延毘古神社くえひこのご祭神は久延毘古命です。「古事記」によると、大国（大物）主神が出雲の美保の岬におられた時に、船に乗って近づいて来る神がいましたが、誰もその名を知らな
い中で、久延毘古命はその神の名が「少彦名神すくなひこのかみ」であることを教えることができたと言われています。
久延毘古命は案山子かかしのお姿をされているので歩けません、世の中のことをことごとく知っている智慧の神とされています。

久延毘古神社は、受験合格や学業向上の霊験あらたかであるとされており、神社内には願掛けの絵馬が数多く掛けられています。

(桜井市 三輪)